

アオキシロカイガラムシ

イチイや温室内の樹木などの幹、枝、葉につく小さな白いカイガラムシ。長さ約1mmで細長い、あるいは長さ2～2.5mmで扁平な洋梨形。

実害はほとんどないが、多発すると被害葉に黄色の斑点ができる。

風通しの悪いところに発生しやすいので、野外では剪定して通風を良くすることで予防する。

【学名】 *Pseudaulacaspis cockerelli*

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) , マルカイガラムシ科 (Diaspididae)

【分布】 北海道, 本州, 四国, 九州; 熱帯～亜熱帯。

【生態】

宿主：イチイ, コブシ, ホオノキ, アケビ, イヌツゲ, マタタビ, ミズキ, サンゴジュ, カツラ, イボタ, ヤシなど。

イチイ以外の各種樹木にもつき、温室内の植物にも普通にみられるという。

札幌辺りでは、成虫が6月に出現する。卵は7月上中旬に孵化する。孵化幼虫は葉で吸汁加害し、8月になると綿状物質を分泌し目立つようになる。発生は年1回、幼虫越冬のようである。

【被害】

北海道でイチイの被害が確認されたのは1991年と比較的最近である。また、被害が報告されているのは主に札幌市である。被害葉には黄色の斑点ができる。木を枯らした記録はない。

【文献】

1977. 奥野孝夫, 田中寛, 木村裕. 原色樹木病害虫図鑑. 保育社, 大阪. (形態, 生態, 防除)

1980. 河合省三. 日本原色カイガラムシ図鑑. 全国農村教育協会, 東京. (分類, 形態, 寄主)

1992. 福山研二, 前藤薫, 東浦康友, 原秀穂. 平成3年度に北海道に発生した森林昆虫. 北方林業, 44: 271-274. (北海道での初めての被害記録)

1996. 尾崎研一. イチイに新たな害虫イチイカタカイガラムシ. 森林保護, 256: 41-43. (生態の報告, 他のイチイのカイガラムシについても解説)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

アオキシロカイガラムシ kaigara/aokisi/
kaisetv.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/2/5.